

平成25年度 第1回 伊賀市環境審議会 議事録

開催日時：平成25年7月26日（金）14:00～16:40

開催会場：ハイトピア伊賀5階多目的研修室

出席委員：市川委員（市議会議員）、田山委員、西委員、高島委員、井上委員、吉岡委員、北川委員、森野委員（以上団体被推薦者）、朴委員、鸛崎委員（以上学識経験者）、中山委員、廣瀬委員、上谷委員（以上公募委員）、人権生活環境部長、企画課主任、清掃事業課主査、農林振興課副参事、下水道課長、環境政策課長、環境政策課主幹、環境政策課主査、環境政策課主任（以上事務局）

欠席委員：前田委員、藤森委員、黒田委員、房川委員、中西委員、坂本委員

議事事項：1 あいさつ
2 審議会について（議事録署名委員の指名について）
3 伊賀市環境基本計画について
4 伊賀市環境マネジメントシステムについて
5 伊賀市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）について
6 その他

議事内容：以下のとおり。

（開会 14:00）

【1 あいさつ】

事務局：平成25年度第1回伊賀市環境審議会を開催いたします。議事録作成のため録音させていただきますのでご了承願います。この審議会では委員の任期は2年となっております。前回審議会で朴委員が会長、鸛崎委員が副会長に選出されております。それでは会長よりご挨拶お願いいたします。

会長：こんにちは。久しぶりに審議会が開催されました。それだけ平和だったということかなと思っております。今日は、順調に進んでいるという報告があるのかなと思います。本日の審議会がスムーズに進むよう皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

前川部長：暑い日が続いています。ご出席賜りましてありがとうございます。平成16年に伊賀市環境基本条例が成立し、条例に基づき施策を計画的に推進するため、平成19年3月には伊賀市環境基本計画が策定され、平成23年3月には伊賀市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）が策定されました。目標として平成27年度には19年度比で二酸化炭素排出量を10%以上削減となっております。しかしながら、計画の推進につきましてはまだまだの状況です。皆様にご審議いただきますようお願いしましてご挨拶とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

【2 審議会について（議事録署名委員の氏名について）】

事務局から、新たに委員となった市川委員と前田委員について紹介する。定足数に達しているため、第18条第2項により審議会を開催することが可能であると報告する。また今回の議事録署名委員として、中山委員、井上委員にお願いする（了承を得る）

【3 伊賀市環境基本計画について】

会長：事項書に基づきまして進めていきます。事務局より説明願います。

事務局：伊賀市環境基本計画平成24年度実績及び25年度計画について説明します。資料は目を通していただいていると思いますので、進捗状況が△のより一層の努力を要する項目を中心

に説明させていただきます。基本目標1『「健康・安心」環境汚染を未然に防止し、市民が健康で安心して暮らせるまち』の生活排水対策の推進のところで「個別排水処理施設の設置状況を表すマップづくりを完成させ、処理区域内の関係自治会役員と協議を行った」の部分が△となっております。25年度実施計画に関しましては「処理区域内の現実的な整備手法を検討する」となっております。続いて基本目標3『「地球環境」地球温暖化対策の取り組みなど、次世代へ地球環境を守るまち』の温室効果ガスの排出抑制のところで「太陽光発電設備の設置補助金について、財政状況および固定価格買取制度の制定により検討はしていない。風力発電施設増設については、県のアセス条例等に従い企業に指導を行った」の部分を△としております。25年度に関しましては「公有財産の有効利用ならびにグリーンニューディール基金を活用し、指定避難所に設置を検討する。風力発電施設による付近住民への公害の現状確認と対策を検討する」としてしております。基本目標4『「資源環境」自然の恵みなどを活用した資源循環型のまち』の新エネルギーの導入推進のところで「住宅用太陽光発電等の設置に対する助成について、多くの設置予定者から補助金の創設の要望を受けた。創設に向け、財政当局と検討した」の部分を△としております。25年度に関しましては「伊賀市家庭用新エネルギー普及支援事業補助金制度が廃止されたため、新エネルギーに関する新たな事業の創出を検討する」としてしております。また、「新エネルギーに関する技術や助成制度などの情報提供について問い合わせの電話等では一部紹介したが、ホームページでは十分な紹介ができなかった」も△としております。25年度に関しましては「ホームページで各種補助金を紹介する」としてしております。続いて基本目標5『「環境教育」環境教育の充実を図り、市民が高い環境知識と誇りの持てるまち』の人材の育成のところで「環境学習の出前講座、環境学習会、環境カウンセラーへ助言を求めることについては実施なし」を△としております。25年度に関しましては実施に向けて取り組んでいきたいと考えています。また、環境情報システムの構築と提供のところで「市の環境の状況及び環境の保全形成に講じた施策について公表できなかった」を△としております。25年度に関しましては公表に向けて取り組んでいきたいと考えております。補足になりますが、水質の検査状況等につきましては事務事業の関連でホームページに掲載しております。青年会議所主催の環境講座に講師を紹介させてもらったこともありました。

会 長 : ありがとうございます。何かありますか？

森野委員 : 環境家計簿モニターの取組みについて、参加してくれた人達はその後継続して取り組んでくれているのか、また、新たに募集したモニターの状況について教えてください。レジ袋有料化に伴いかなりの量が削減されているかと思いますが、寄附金もかなりプールされていると思います。その用途はお考えでしょうか？また、人材育成の点では、各住民自治協には環境部会がありますし、地域の中で活動していただくためにもセミナーを開催して育てていてもらいたいと思います。

事務局 : 環境家計簿モニターやレジ袋については後の項でお話したいと思います。環境セミナーは環境保全市民会議と連携して開催しました。なかなか参加者が集まらず苦勞しておりますが、今後も他課と協力して開催していきたいと考えています。

廣瀬委員 : 進捗状況は◎、○、△ではなく、できたこと、できなかったことをチェックし、数値で表した方が次年度の計画につながると思います。前年度のコピーをただの物も多く見受けられます。このようなチェック方式では区切りもメリハリも無いのでは。

事務局 : ご意見参考にさせていただきます、25年度実績や26年度計画作成の際にそのようにしていきたいと思っております。

会 長 : ◎、○、△はどのような基準になっていますか？適当に付けたわけではないですよね。各担当課から提出された物をそのまま掲載しただけですか？何%実現で◎、などは決まっているのですか？

- 事務局 : 環境基本計画はそれぞれ施策に対して目標値を定めています。達成度合に比較して評価をしています。
- 会長 : 環境政策課の部分で△が多いですね。なぜできなかったのか？ちょっと情報を拾う気になればいくらでも可能だと思います。環境カウンセラーもいますし、もっと環境学習情報センターも利用してください。環境政策課に△があれば他課に何も言えないのではないかと。三重県内だけでもアクセスすればかなりの情報が得られるのもっと頑張ってください。説明責任を果たしていきましょう。ホームページについても怠慢と感じてしまいます。
- 事務局 : 微小粒子状物質の件などはホームページにも直ぐに掲載しました。環境教育の面では、環境セミナーの開催回数が少なかったこと等を考慮し△としました。こどもエコクラブも登録件数が3団体と減ってしまい、情報提供の機会が少なくなりましたこともあります。補助金の情報についても県と連携していきます。
- 会長 : 例えば、補助金が廃止され予算が無いなかで何ができるのかを考えてくれていると思います。ではどのくらい検討すれば○なのか基準がわかりません。検討したのに△となるのですか？
- 事務局 : 検討はしましたが予算措置もできませんでしたので△としました。限られた財源の中で、環境保全負担金もいただいていますので25年度も検討していきたいと考えています。
- 会長 : 努力はしましたが結果が出なかったということで△としたならば、備考で説明をつけても良いのではないかと。いくらでも説明責任は果たせると思います。
- 事務局 : 注釈をつけるなど考えていきたいと思えます。
- 副会長 : 公共下水道事業について、市街地区域のことだと思いますが、町単位で現実的な整備手法を考えてくれているのでしょうか？私はボランティアに携わっていますが、その団体の、上野の町の下水が全然進まないが、との相談をよく受ける。厚労省の補助金もあるし、町単位で設置していけば良いのではと思うのですが、いったいどのような手法で進めていくつもりなのか教えてほしい。
- 下水道課 : 48ブロックに分けて整備を進めていっております。公共下水は3つの地区で予定しています。24年度は中心市街地に力を入れて浄化槽設置状況のマップを作成し、現状の把握をしました。旧町部のなかでもっと現実的な即効性のある生活排水の整備計画を考えたいと思っています。市街地の中で農業集落排水は制度上できません。公共下水以外の方法でどんなことができるのか。合併浄化槽やコミュニティプラントの手法を旧町部で取り組めないかなど現実的に検討していくところです。
- 廣瀬委員 : 実績の中で伊賀線運行支援のところ、利用促進の実績しか記載されていませんが、環境政策課の資料とするならば利用促進によって自動車利用が何%変動したのか、そういった数字が必要ではないでしょうか。
- 前川部長 : 伊賀市環境基本計画には施策がいろいろありまして、全庁的に推進していこうというものです。それぞれの担当課で取り組んでいこうというものです。
- 企画課 : データを基に実績としてあげていく方が良いのではというご指摘ですが、企画課では自家用車から環境にやさしい公共交通機関へ利用を変更してもらうよう広報誌でも年6回の啓発を行っております。二酸化炭素排出量がどれくらい削減されたのか、何人が自家用車から公共交通機関に変更してくれたのかまでは把握し難いです。市の職員に向けても期間を設けて啓発を行っていますが、取り組んだ職員数のデータならばあげさせてもらうことは可能です。
- 廣瀬委員 : この企画課の取組みによって環境に対しての負荷がどのくらい影響しているのかを環境政策課ではどう考えていますか？
- 事務局 : 地球温暖化対策実行計画の中で産業部門や運輸部門で削減できた数値は掲載されていますが、それに対して使われた電力量等のエネルギーについては分析できていない状況です。

西委員：森林の保全のところ、森林の範囲は公有林と私有林両方含めてですか？範囲を教えてください。

農林振興課：公有林と私有林全てが対象となります。

西委員：個人の山も含まれるということですね。阿波地区でも個人所有の森林が放置されているケースが多いです。私有林もあるが市として管理できるのか？

農林振興課：あくまで財産は個人の財産でございます。受光伐や間伐の計画づくりや事業の実施、もろもろの活動も含めて広い意味では森林の保全、環境の保全につながるということで計画にあげています。

北川委員：農地の保全のところ、菜の花プロジェクトの面積が目標以上ということで評価をされています。意味としては遊休農地の再生利用が一番だと思います。遊休化していくことを止めるためにもっと本格的に取り組めないかと思っています。菜の花プロジェクトの問題点は再生化につながっていないことだと思います。経済の循環を意識し付加価値を付けながら再生化を目指して行ってほしいです。単純に面積を増やして◎と評価するのは物足りなく感じます。

農林振興課：菜の花プロジェクトを推進するうえで、価値のあるところをもっと前面に出していけると激励いただいたと思っています。経費削減や循環方法は考えておりますがいろいろ規制もございます。目標としては達成していますが次へのステップとして考えていきたい部分です。

田山委員：私は市の行財政改革の委員会にも入っていますが、この審議会は事務局から出された資料を審議する場ですよね。事後評価が○や△ではわからない。数値化してもらわないと。具体的に示さず、検討します、皆さんの意見を聞きました、それだけで終わってしまうパターンの委員会が多いと思います。市の財政が苦しいことは理解しています。だからこそ行政は専門の知識を持って最も経済的な方法で物事を解決して行ってほしいし、審議委員は市民の目線だと思います。行政にも謙虚で一生懸命な若い職員が増えてきていると聞いています。様々な取組みもまずは行政が率先して取り組んだかたちを見せてから市民に啓発をしてもらいたいです。

会 長：ごもっともな意見だと思います。意識を変えていくのは大変です。環境審議会は一つ一つの積み重ねです。伊賀市の環境基本計画をどのように次につなげるのか、もう少し早く審議すべきではないでしょうか。伊賀市はいつも遅いです。せめて5月の連休明けにはお願ひしたいところです。コピーやペーストも多いので方向性についてもっと議論をしたいところですが、もう年度も半分近くすぎているので、審議会としてはこれを承認という形にしないとどうしようもありません。皆さん、了承としたいがよろしいか？（※「はい」の声あり）

【4 伊賀市環境マネジメントシステムについて】

会 長：事務局より説明をお願いします。

事務局：24年度各課取り組み結果（一部抜粋）をご覧ください。各課独自の目標を設定してもらい取り組んでもらいました。会議が多いこともあり、紙の削減についてほとんどの部署で取り組みました。両面コピーの実施等により、かなりの量が削減できていると考えられます。昼休みの消灯等により電力消費もかなり抑えられたと考えております。車についてもエコドライブに取り組んでおり、他にもグリーン購入やごみの分別の面での取り組みが見られました。また、家庭においてもエコバッグ等に取り組んでいるところが多く見受けられます。25年度の取組みについては庁内会議でも指摘がありまして、どこも同じような目標になっているので全庁統一でエコドライブと紙の削減、ガソリンと紙の使用量をともに前年度比3%減らすことを目標にしてあります。19年度から24年度にかけての伊賀市役所の

温室効果ガス排出量の一覧をご覧ください。24年度使用量は全体としては前年比98.5%となっております。しかし、細かく見てみますと例えば教育委員会部局については大山田支所に移転したこと、中央公民館が解体されてハイトピア伊賀に移転したことの影響から大幅増となっております。庁舎のあり方にも関わってきますが、24年度の使用量が基準と考えて次年度以降削減されていくよう取り組んでまいります。

廣瀬委員：努力に敬意を表しますが、これは市役所庁内だけで議論していただければよろしいかと思えます。

事務局：報告しなくてもよろしいでしょうか？

廣瀬委員：伊賀市環境マネジメントシステムとは市役所だけのことでしょうか？

事務局：そうです。市役所独自のシステムのことです。

市川委員：紙を減らす努力をされているということですが、民間企業やほかの自治体でも行われていることですが、ペーパーレス化やタブレットを使っていくという考えはおありですか？

事務局：市長もそう発言していますが、環境政策課だけで済む話でもありませんし、情報推進室との兼ね合いもございます。市役所全体の課題として余分な資料を作らないよう心がけるなどの取り組みが必要だと考えております。

市川委員：紙の使用が年間どれくらいかのデータはありますか？

事務局：今は持ち合わせておりません。

市川委員：どのくらいの使用があるのか、どのくらいの経費がかかるのか、しっかり把握した上で取り組んでいてもらいたいと思います。

会長：提案ですが、環境政策課がリーダーシップを取って、紙は何%削減と目標を設定する、エネルギーについて全庁あげてのキャッチコピーのようなものが必要ではないでしょうか。例えば三重大学では世界一を目指しています。電気はなかなか減らないので無理矢理でも契約量を減らしました。そして減らしたものが自分達のところに還ってくる循環システムも必要ではないでしょうか。目標数値を決めてどこまでできるのか一度やってみてください。今は姿勢が見えません。

事務局：実行計画の削減目標は掲げています。庁内掲示板も活用しています。消灯等できる限りやってもらっていますが、建物の構造上なかなか難しいところもあります。

会長：伊賀市役所にどれだけの可能性があるのか、あらゆる工夫を考えて努力した結果を見せてください。

前川部長：伊賀市役所では各部署に環境推進員を置いています。推進員が中心となって今年度は各課でこれだけはやってもらうということで2つの目標に取り組んでもらっています。庁内の会議にも諮っていきます。

会長：やれば結果は出てくると思います。その結果を持って次のステップに進んでいきましょう。二酸化炭素排出量ですが、教育委員会部局については25年度の結果を見れば分析も進められると思いますが、しかし24年度の数値はいかがなものかと感じます。

事務局：教育委員会部局にはこのハイトピア伊賀の電気使用量も按分として含まれています。

西委員：この資料の数値は市役所関連施設のみですよね。地球温暖化対策のためには市の施設だけでなく、一般家庭、事業所等にも取り組んでもらわないと。市役所だけでやっても仕方ないのでは。

事務局：各家庭には環境家計簿も配布し省エネ活動に取り組んでもらっています。事業所は生産活動もありますのでエネルギー使用量が減れば、それは生産量が落ちたとも言えると思いますので難しいと感じています。アンケートも実施したいが予定はたっておりません。

会長：民生部門について言えば、意識どうこうよりも人口の割に世帯数が多いことが現在の課題です。自分達がやらないと人にも言えないので市役所には頑張ってもらいたいと思います。もう結果としては出てしまっていますので、これも審議したと了承して次にいきましょう。

【5 伊賀市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)について】

会 長 : 事務局より説明をお願いします。

事務局 : 環境家計簿モニターの集計結果をご覧ください。実行計画の目標達成に向けて環境家計簿をより効果的に普及するため、モニター登録による取組みを実施しました。広報で市民 250 人、市職員 50 人の募集を行い、登録者はそれぞれ 34 人、67 人でした。回答提出があったのはそれぞれ 20 人、49 人でした。モニター期間は市民が 8 月～10 月、市職員は 7～9 月でした。提出データをまとめますと一ヶ月あたり一世帯で平均 524.7kg の二酸化炭素排出量がありました。削減量の平均は 18.9kg、約 3.5%の削減結果が出ました。モニター登録者の多くが初めて環境家計簿をつけたという方であり、排出量が確認できて役に立ったとの意見を多数もらっています。モニターによる取組みは今年度も募集しています。今後も啓発として続けていきたいと考えています。また、実行計画の中で削減行動別目標としてマイバック運動を掲げております。平成 27 年度でレジ袋受取辞退率が 92%としておりますが、平成 20 年度から 24 年度までの平均として 88.29%となっております。削減枚数は 7,112,066 枚、二酸化炭素削減数ですと 711.21 t となります。事業所数は現在 6 社 11 店舗です。レジ袋有料化に伴い集まった寄附金約 350 万円については有効活用の方法を検討中です。

森野委員 : 環境家計簿モニターですが、昨年度の登録者には今年度も継続してもらってはいかがでしょうか。今年度の募集も住民自治協議会に働きかけてください。レジ袋について、辞退率や店舗数が減っていること、また、引き止めはされなかったのかなど残念に思います。あとコンビニエンスストアにももっと働きかけないと。検討委員会は何年か前に開催されたきりです。寄附金約 350 万円の使い道について何か見える形で示してほしいと思います。

事務局 : 寄附金については検討委員会開催を考えています。何年か前の話では桜の植樹等も挙がったようですが、維持をどうするのかといった問題から無くなったと聞いております。

森野委員 : レジ袋は名張市と協力してやろうという話だったはずですが、やめる所が少なくなるように推進をお願いします。

会 長 : レジ袋に関しては紳士協定です。今は大手スーパーでもマイバック持参が定着しています。レジ袋の収益金で次世代への環境教育に取り組んでほしいと思います。環境家計簿のモニターは少ない気もしますが、きちんとつけることは面倒だと私でも感じます。取り組んでもらった人のうち頑張って結果が出た人には市が表彰してあげる等、努力の成果を感じられる仕組みにすることが大切です。市主催のフェア等でできる機会はあると思います。

鷺崎委員 : 伊賀市地球温暖化対策実行計画について今回は環境家計簿モニターの件で議論していただきました。平成 27 年度で 10%の削減目標です。できれば次回の審議会では、算出方法に則って出した数字を見せていただき、今いったいどのくらいの目標達成率なのかを議論したいと思います。その数字を見て次に活かせる話をしたいので資料として数字の提供をお願いします。今のままでは全体が見えてきません。

事務局 : 可能な限りそうします。

会 長 : 審議会のあり方についてお願いがあります。この審議会は条例に基づいてのものです。市から議題がある時に開催されていますが、次からは諮問の形で出してください。副会長からもありましたが、数字をまとめてもらってから開催したい。伊賀市の元気の良いところを見せてください。それとホームページが非常に脆弱です。県とのリンクを貼り付けてください。情報をフルに活用できるようにしてください。

【6 その他】

会 長 : 何かありますか？

上谷委員：伊賀市役所温室効果ガス排出量の資料をもらいましたが、化石燃料だけが二酸化炭素を排出するのですか？人間や動物が排出する二酸化炭素は含まれないのか？また、二酸化炭素を吸収するのは森林だけですか？その他の植物は吸収しないのですか？それとも少量は吸収するが数値が小さすぎて効果として表せないだけですか？

事務局：温室効果ガスの排出量につきましては、伊賀市役所で使用した電気やガソリン等のエネルギー分について換算した数値です。吸収量については実行計画の中で詳細な資料が無いので不明ですが、木の種類によって吸収する係数が定められています。

会長：植物も吸収しますが、温暖化対策で吸収量を計算する際には国連で定められた細かい計算式を使います。排出量は使用したエネルギー源で計算すると決まっています。

市川委員：感想ですが少しこの部屋は冷房が効きすぎかなと。環境の会議としてはいかがなものかと思います。基本計画を見ていると進捗で△評価であるのに 25 年度もまた同じように変化なく目標が設定されてある。このように空調にしても基本計画にしてももっと踏み込んでできないものかと感じます。

鷺崎委員：次からは委員の皆さんに環境基本計画の冊子を配布するようにしてください。在庫が無ければ印刷でも結構です。

前川部長：たくさんのご意見ご提言ありがとうございます。伊賀市環境基本計画で環境政策課が取り組む施策で進捗△が多いこと、反省しなければと感じています。また、表記方法でもご意見いただきました。伊賀市地球温暖化対策実行計画においても市民・事業者に対してまだまだ啓発ができておりません。配布しただけで終わっていますので、今後こういった推進をしていくかが一番の課題です。協議ありがとうございました。

(閉会 16:40)

議事録について、上記のとおり顛末を録し、ここに署名します。

平成 25 年 8 月 21 日

議事録署名委員 伊賀市環境審議会委員 井上 貞夫 ㊞

議事録署名委員 伊賀市環境審議会委員 中山 隆義 ㊞